

頭頸部癌基礎研究会

Japan Cooperative Study Group for Basic Research in Head and Neck Cancer

本研究会は、2007年10月26日に設立されました。

以来頭頸部癌に関する基礎研究の振興を目指して活動を続けています。2016年4月から、日本頭頸部癌学会とリンクする新しい体制となりました。

設立 平成19年10月 (2007年)

目的 頭頸部癌に関する基礎研究の振興を目指して様々な活動を行う

組織

代表幹事 折館伸彦

幹事

家根旦有 (共同研究担当) 太田一郎 (国際委員) 藤井正人 (事務担当) 吉崎 智一
倉富 勇一郎 中島 寅彦 益田 宗幸 今西 順久 本間 明宏 金澤 丈治 岡本美孝
峯田周幸 大上 研二 小川徹也 丹生 健一 志賀 清人 猪原秀典 濱 孝憲
(順不同 敬称略)

主要事業

- 研究会： 日本頭頸部癌学会 初日の夜に開催
- 会員の発案により、共同研究を行う
- 海外留学の振興： 留学報告 留学支援
- 欧米の主要な学会における頭頸部癌基礎研究の情報を伝える
- 学会での基礎研究発表の促進
- 英文基礎論文執筆の促進：
幹事 により 毎年 優秀論文賞 2名 を選出し研究会で表彰する。

会員数 (2016年3月現在) 211人

事務局 永寿総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター

〒110-015 東京都台東区東上野 2-11-6 植村ビル4F

Tel/fax 03-6885-5169

Email entmafuji@gmail.com

(学会会員の方で、新規入会をご希望される方は事務局まで Fax/email でご連絡ください)

第12回 頭頸部癌基礎研究会

日時 平成30年6月13日(水) 17時55分-20時
場所 新宿NSビル スカイカンファレンス30階西 ホールA+B
会費 無料

プログラム

- 開会挨拶 学会事務局長 篠崎 剛 (国立がん研究センター東病院)
(事務局からの連絡) 折館伸彦 (横浜市大) 太田一郎 (奈良医大) 17:55-18:00
1. 海外留学帰国発表 座長 大上研二 (東海大) 18:00-18:45
- a. "Bioinformatics & Computational Analysis in UCSD"+ 昨年度優秀英語論文報告
留学先:カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) Moores Cancer Center 安藤瑞生 (東京大)
- b. "研究歴ゼロからの UCSD 研究留学"
留学先:カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) Moores Cancer Center 酒井昭博 (東海大)
- c. "頭頸部癌特異的な NOTCH シグナルの探求とその機能解析"
留学先:カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) Moores Cancer Center 福角隆仁 (大阪大)
2. 2017年頭頸部癌基礎研究優秀英語論文 発表と表彰 18:45-19:15
座長 中島寅彦 (九州医療センター)
- a. Epigenetic silencing of SALL3 is an independent predictor of poor survival in head and neck cancer.
Clin Epigenetics. 9:64, 2017. 三澤 清 (浜松医大)
- b. Cancer-associated fibroblasts promote an immunosuppressive microenvironment through the
induction and accumulation of protumoral macrophages.
Oncotarget.31;8(5):8633-8647, 2017. 高橋秀行 (群馬大)
3. 頭頸部癌基礎研究 review 座長 太田一郎 (奈良医大) 19:15-19:45
「AACR 2016 学会レポート、その舞台裏」 鈴木真輔 (秋田大)
「がん研究 UP TO DATE 2018 世界の基礎研究の動向」 益田宗幸 (九州がんセンター)
4. 多施設共同研究 座長 折館伸彦 (横浜市大) 19:45-20:00
「中咽頭扁平上皮がんに対する集学的治療の効果とヒト乳頭腫ウイルス感染との相関に関する臨床研究」中間
報告、および 導入化学療法アンケート調査結果報告 藤井正人 (永寿総合病院)
- 「付随研究:中咽頭扁平上皮がんに対する集学的治療の効果とヒト乳頭腫ウイルス感染との相関に関するバイ
オマーカー研究」中間報告、および内分泌外科専門医に関するアンケート結果報告 家根且有 (近大奈良)

閉会挨拶 折館伸彦 (横浜市大)

***** 懇親会のお知らせ *****

研究会終了後、ひとつ下のフロアで懇親会を以下のごとく、開催します。
前回と同様に、本研究会前に出席確定者には会費と引き替えにチケットを配布します。
会員以外の方も参加可能です。奮って参加ください。

場所 ゆであげパスタ&ピザ ラ・パウザ 新宿NSビル店 (同ビル29階) TEL03-3345-6613
時間 20:15~22:15 ごろ
懇親会費 5,000円 (研究会前に徴収予定)

連絡先: 奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科
太田一郎 iota@naramed-u.ac.jp

頭頸部癌基礎研究優秀英語論文賞 一覧

	受賞者	受賞論文	雑誌名
2013 年 (第 7 回)	石川征司 (京都大)	Increased Expression of Phosphatidylcholine (16: 0/18: 1) and (16: 0/18: 2) in Thyroid Papillary Cancer.	PLoS One. 2012;7(11): e48873.
	小川武則 (東北大)	miR-34a is downregulated in cis-diamminedichloroplatinum treated sinonasal squamous cell carcinoma patients with poor prognosis	Cancer Sci. 2012 Sep; 103(9): 1737-43.
2014 年 (第 8 回)	今井隆之 (宮城がんセンター)	CD271 Defines a Stem Cell-Like Population in Hypopharyngeal Cancer.	PLoS One. 2013 Apr 23; 8(4):e62002
	辻川敬裕 (京都府立医大)	Autocrine and paracrine loops between cancer cells and macrophages promote lymph node metastasis via CCR4/CCL22 in head and neck squamous cell carcinoma.	Int J Cancer. 2013 Jun 15; 132(12): 2755-66.
2015 年 (第 9 回)	福角隆仁 (大阪大)	CD10 as a novel marker of therapeutic resistance and cancer stem cells in head and neck squamous cell carcinoma.	Br J Cancer. 2014 Jul 29;111(3): 506-14.
	大村 学 (京都府立医大)	Aberrant Myosin 1b Expression Promotes Cell Migration and Lymph Node Metastasis of HNSCC.	Mol Cancer Res. 2015 Apr; 13(4):721-31.
2016 年 (第 10 回)	福本一郎 (千葉大)	MicroRNA expression signature of oral squamous cell carcinoma: functional role of microRNA-26a/b in the modulation of novel cancer pathways.	Br J Cancer. 2015 Mar 3;112(5): 891-900.
	高橋秀行 (群馬大)	Immunosuppressive activity of cancer-associated fibroblasts in head and neck squamous cell carcinoma.	Cancer Immunol Immunother. 2015 Nov;64 (11):1407-17.
2017 年 (第 11 回)	近藤 悟 (金沢大)	APOBEC3A associates with human papillomavirus genome integration in oropharyngeal cancers.	Oncogene. 2017 Mar 23; 36(12):1687-1697.
	安藤瑞生 (東京大)	Mutational Landscape and Antiproliferative Functions of ELF Transcription Factors in Human Cancer.	Cancer Res. 2016 Apr 1; 76(7):1814-24.
2018 年 (第 12 回)	三澤 清 (浜松医大)	Epigenetic silencing of <i>SALL3</i> is an independent predictor of poor survival in head and neck cancer.	Clin Epigenetics. 2017 Jun 12; 9:64.
	高橋秀行 (群馬大)	Cancer-associated fibroblasts promote an immunosuppressive microenvironment through the induction and accumulation of protumoral macrophages.	Oncotarget. 2017 Jan 31; 8(5):8633-8647.